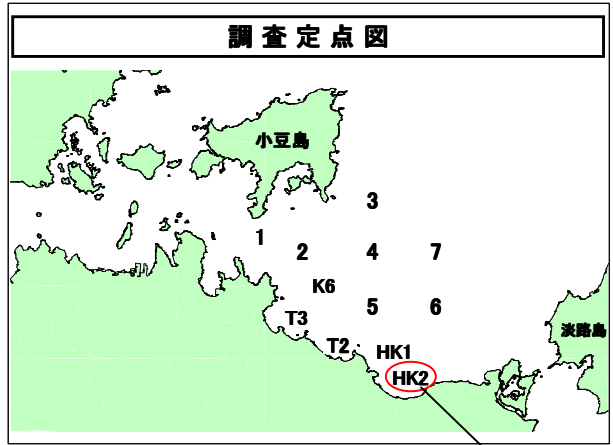


# カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2013. 8-1号)

香川県水産試験場 益井  
TEL: 087-843-6511

調査日: 2013年8月1日  
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳  
調査定点: 播磨灘11定点+臨時調査1定点(右図)



臨時調査点

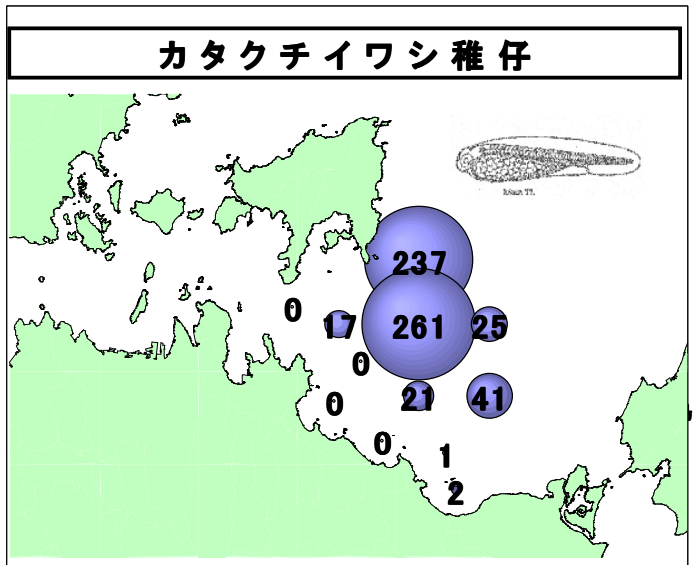
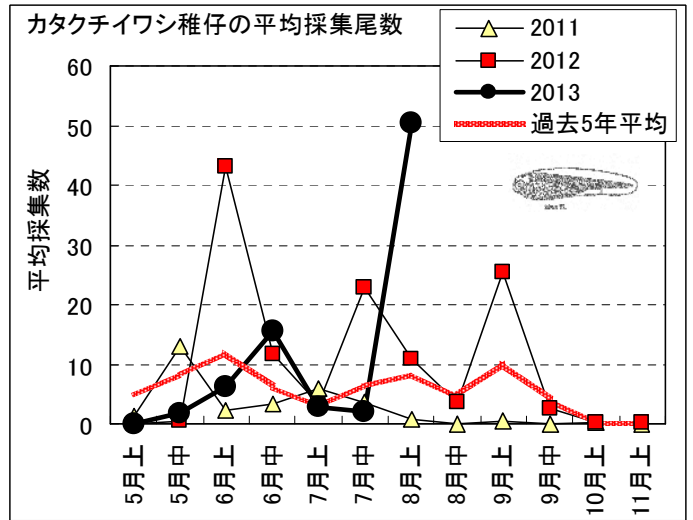
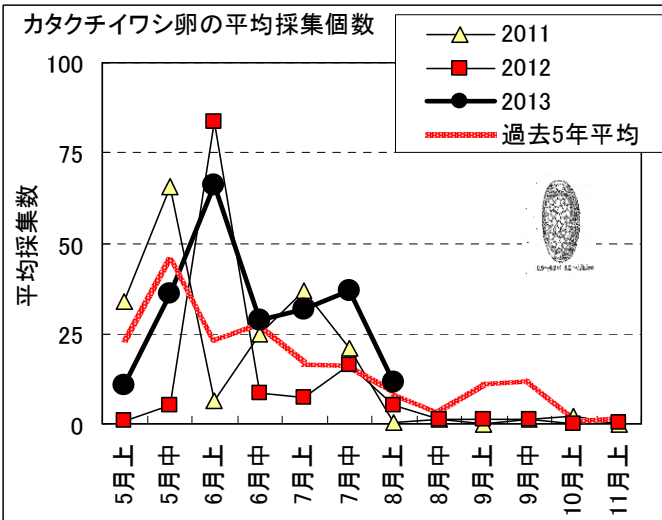
## 【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK1	HK2	T2	T3	K6	11点平均値
2011.8.3	0	0	6	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0.5
2012.8.3	0	1	7	0	22	0	0	24	-	0	0	1	5.0
<b>2013.8.1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>29</b>	<b>89</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>11.5</b>

## 【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK1	HK2	T2	T3	K6	11点平均値
2011.8.3	0	0	1	3	2	1	0	1	-	0	0	1	0.8
2012.8.3	2	33	9	7	14	4	13	5	-	2	1	29	10.8
<b>2013.8.1</b>	<b>0</b>	<b>17</b>	<b>237</b>	<b>261</b>	<b>21</b>	<b>41</b>	<b>25</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>54.8</b>

- \* 表中の「-」は未測定を表す。
- \* 11点平均値: 臨時調査点を除く播磨灘11定点の平均値を表す。
- \* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を表す。



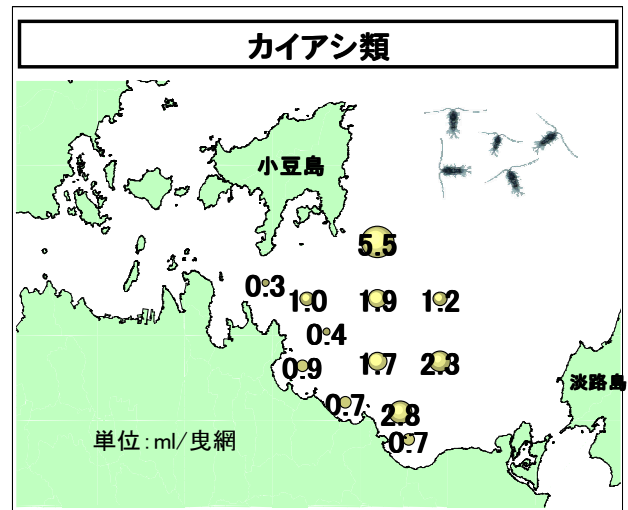
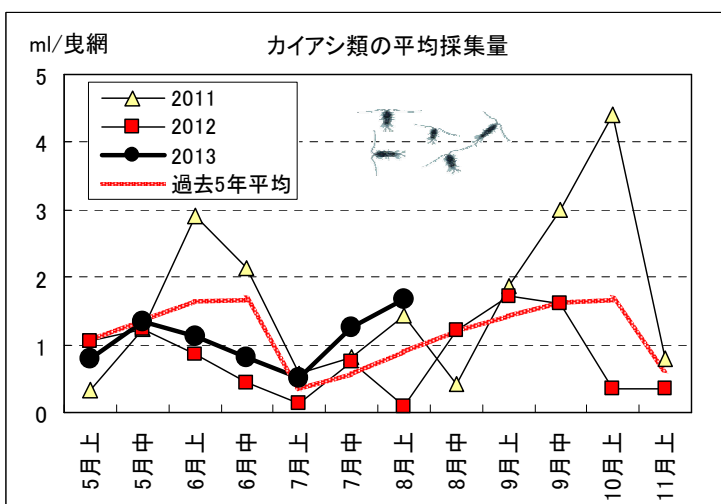
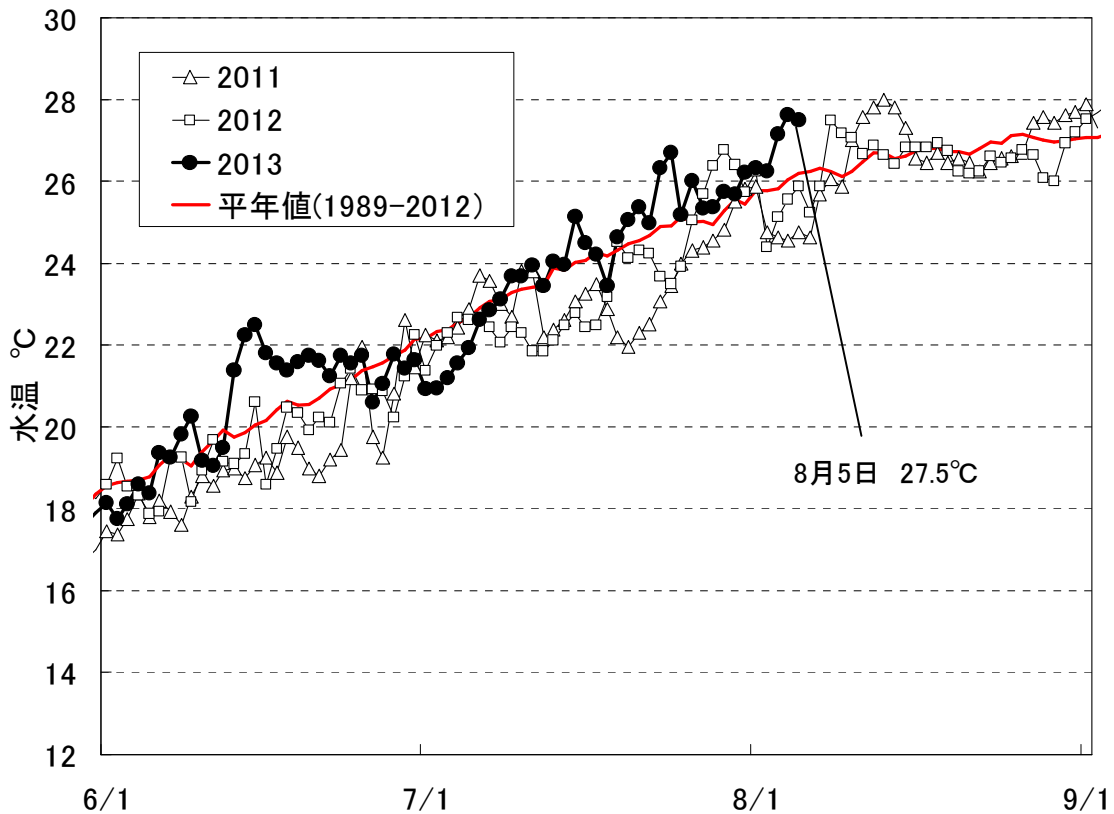
播磨灘11定点における卵の平均出現数は約12個で、前回(7/17)より大きく減少しましたが、ほぼ平年(直近5年平均)並みの数量でした。小豆島南東部の調査点で局所的に出現しました。一方、稚仔の平均出現数は約55尾で、月平均としては2005年以降で最多でした(これまでは2012年6月上旬の43尾)。卵と同じく小豆島南東部を中心に分布していました。

引田沖の水温は7月以降「平年並み～かなり高め」で推移しています。

カタクチワシの餌料生物として重要なカイアシ類は前回より引き続き増加傾向です。

【参考】

引田沖水温バイデータ(午前9時, 1.5m層)



カイアシ類採集量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カタクチワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチワシ卵稚仔速報」でも公開しています。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は、8月16日に実施予定です。